

児童文学論

1. 担当教員

- ・ 名前: 横尾元意(よこおもとい)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

児童文学のあるべき性質を理解して、子どものすばらしい素の姿を感受する。

(2) 到達目標

- ① 優れた児童文学の特性を理解する。
- ② 英語のテキストによって児童文学に触れる。
- ③ 子どもの性質に感嘆する。

(3) ディプロマポリシーとの関連

人間学部のディプロマポリシー「1. 建学の精神に則り、キリスト教(カトリック)について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身につけていることを学位授与の条件とする。」に基づき、特に児童文学を通して子どもの感性に触れるとともに、児童文学の概要を把握することを目指す科目である。

3. 授業の概要

毎時、リアンH. スミスの「児童文学論」の内容を紹介して、それに則した英文で書かれた代表的な児童文学を講読しながら進めていく。

4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	テーマ・内容	予習・復習	備考
1	/ 児童文学の問題:「宝島」		
2	/ 児童文学の系譜:「トムソーヤの冒険」		
3	/ 批評の態度:「ロビンソンクルーソー」		
4	/ 昔話:「ヘンゼルとグレーテル」		
5	/ 神々と人間:「エコーとナシッサス」		
6	/ 叙事詩とサガの英雄たち:「アムレド」		
7	/ 詩:マザーグース		
8	/ ストーリー:「メアリーの牧場」		
9	/ ファンタジー:「不思議の国のアリス」		
10	/ 歴史小説:「ウェイヴァリー」		
11	/ 知識の本:「ロウソク物語」		
12	/ From The ugly Duckling		
13	/ From Heidi		
14	/ from the Happy Prince		
15	/ From The Hobbit		
16	/ 定期試験		

予習・復習 前もって、取り扱う英文の作品を凡その意味の取れるように予習しておくこと。復習として、取り扱った作品の内容についてレポートを課します 必要な時間は1コマ 120分検討となる。

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法

- ・レポート 試験(70%)
- ・受講態度(15%) : 欠席5回単位取得不可。遅刻・早退3回欠席1回。
- ・課題レポート(15%)

6. 履修上の注意

特別な配慮を要する学生は申し出て下さい。